

「ぐんま・県土整備プラン2020」の概要

「ぐんま・県土整備プラン2020」とは

2040年に目指す将来像の実現に向けて、道路や河川、砂防施設、県立公園、下水道、県営住宅など、社会資本の整備や維持管理を「どのような考え方で、どのように進めていくか」を示す県土整備分野の最上位計画

【計画の期間】

令和2年度（2020年）から令和11年度（2029年）までの10か年計画

社会資本整備を取り巻く変化の見通し

温室効果ガスによる地球温暖化（ぐんま5つのゼロ宣言）

加速する社会資本の老朽化

人口減少と高齢化の更なる進展

公共交通の衰退のおそれ

市街地の拡散と低密度化

社会資本整備と維持管理の担い手の減少

AI やIoT *などの新技術の進展

コロナ後の「ニューノーマル」への移行

SDGs の理念に基づく、グローバルな視点からの地域課題の克服

気候変動の影響等による気象災害の頻発化・激甚化

令和元年東日本台風による甚大な被害を踏まえた「群馬・気象災害非常事態宣言」の発出

見直しのポイント

気象災害の新たな脅威にしっかりと対応するため、ハード・ソフトが一体となった**防災・減災対策を加速**

水害
対策

土砂災害
対策

道路
防災

2040年に目指す将来像

災害に強く、安定した経済活動が可能な群馬県

**誰もが安全・快適に移動でき、
人と人、人と地域のつながりを生み出す群馬県**

**地域に愛着や誇りを持ち、
良好な社会環境のもとで持続的に暮らせる群馬県**

将来像の実現に向けた「政策の方向性」

目指す将来像と現状のギャップと課題

- ① 気候変動の影響等により頻発化・激甚化する気象災害と増大する災害リスク
- ② 依然として気象災害の危険にさらされている多くの人命・財産
- ③ 災害の危険が迫っても、自ら逃げない・逃げられない住民
- ④ 重要交通網の寸断による社会的・経済的損失リスクの増大

- ① 加速する社会資本の老朽化
- ② 社会資本ストックの増加による日常点検・維持管理更新業務の増大

- ① 公共交通の衰退など自動車を使えない県民の移動手段の減少
- ② 物流ニーズの変化と周遊性の低い広域観光
- ③ 人口減少の進展により市町村単独では維持が困難になる医療、福祉、商業などの生活に必要な都市機能
- ④ 全国ワースト上位の交通人身事故発生件数

- ① 市街地の拡散と低密度化による行政コストの増大とコミュニティの希薄化
- ② 空き家・空き地の増加などによる生活環境の悪化と地域の魅力の低下

- ① 失われつつある群馬の自然
- ② 遅れている水質環境の改善
- ③ 進行する地球温暖化

- ① 就業者の減少や高齢化が進行する建設産業

今後10年間の政策の方向性

【災害レジリエンスNo.1の実現】

本県を襲った令和元年東日本台風をはじめ、近年、気候変動の影響等により、水害等の気象災害が頻発化・激甚化する中で、気象災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスNo.1」の実現に向け、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策を加速させる

【持続可能で効率的なメンテナンス】

厳しい財政状況の中、社会資本の老朽化や劣化を原因とする事故を防ぎ、県民の安全・安心な生活を守るとともに、メンテナンスに係るトータルコストの中長期的な縮減、平準化を図るため、持続可能で効率的なメンテナンスを推進する

【多様な移動手段の確保】

人口減少と高齢化の更なる進展による交通需要の変化に対応した「誰もが安全で快適に移動できる社会」の実現に向けて、多様な移動手段を確保するための取組を推進する

【住み続けられるまちづくり】

人口減少と高齢化が同時に進行する局面でも、誰もが生活に必要なサービスを持続的に享受できるよう、効率的で快適なまちづくりの促進に向け広域的な観点から市町村のまちづくりを支援する

【美しく良好な環境の保全】

将来の県民に良好な環境を引き継ぐため、「自然環境の保全」や「健全な水循環の維持・回復」を推進するとともに、温室効果ガスの排出量実質「ゼロ」を目指し、地球温暖化対策を推進する

【社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成】

社会資本の整備と維持管理の担い手であるとともに、地域の安全・安心の守り手として欠くことができない建設産業の健全な発展に向け、働き方改革や現場の生産性の向上、さらには魅力の発信に取り組み、担い手の安定的かつ持続的な確保・育成を支援する

将来像の実現に向けた「新たな視点」

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」 群馬・気象災害非常事態宣言
ぐんまSDGsイニシアティブ ～SDGs先進県に向けた決意宣言～

政策 1

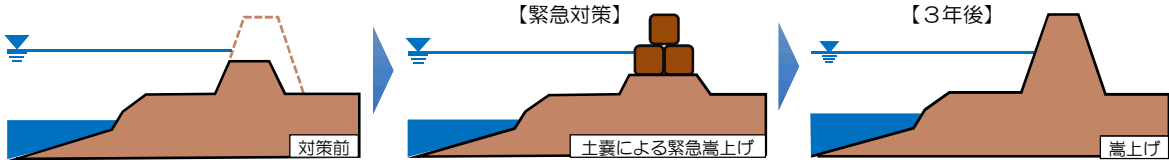
災害レジリエンス No. 1 の実現



施策 1 緊急水害アクション（3 か年緊急レジリエンス戦略）

取組 1 越水・溢水*や内水被害が発生した地域などの安全性の向上

令和元年東日本台風により溢れた河川の堤防嵩上げ

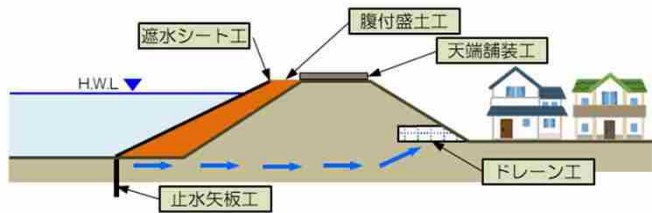


ポンプ車配備による排水機能の強化



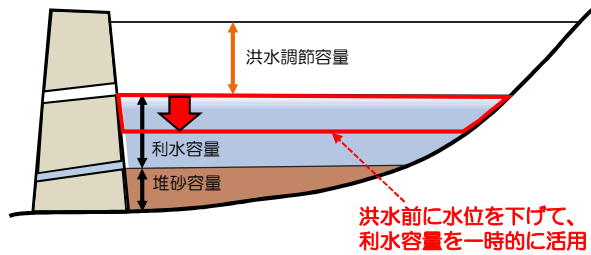
取組 2 既存堤防の決壊防止

既存堤防の決壊を防止する堤防強化



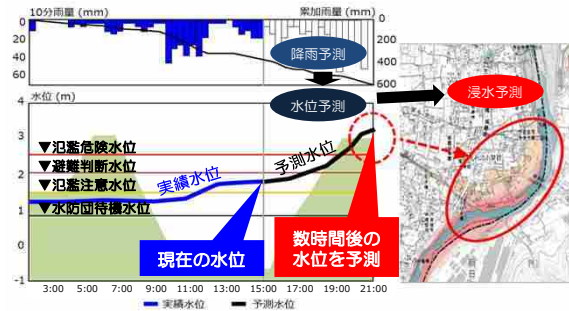
取組 3 ダム事前放流体制の構築

ダムの洪水調節能力の最大化



取組 4 住民の主体的な避難行動を促す情報の拡充

リアルタイム水害リスク情報システムの構築



施策 2 重点水害アクション（5 か年重点レジリエンス戦略）

取組 1 社会経済の壊滅的な被害を回避する河川整備の加速化

利根川の河川改修（堤防嵩上げ等）

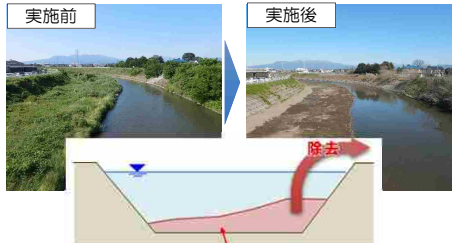


休泊川の河川改修

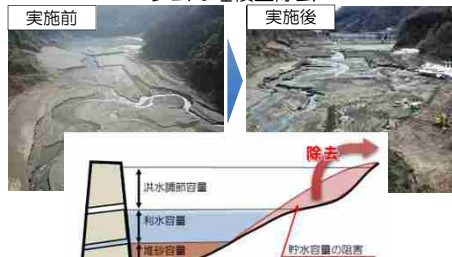


取組 2 頻発化する豪雨に対応する河川やダムの機能の維持・回復

河川の堆積土除去

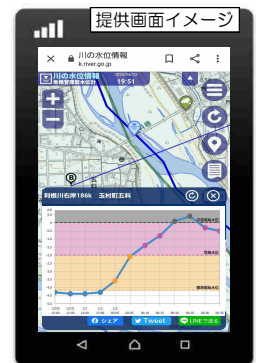
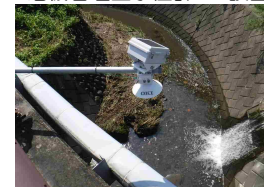


ダムの堆積土除去



取組 3 住民の主体的な避難行動を促す情報の拡充

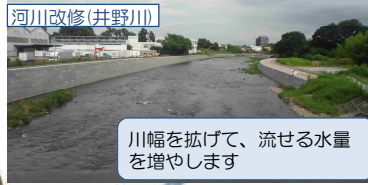
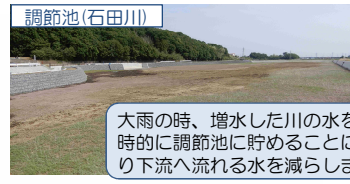
危機管理型水位計*の設置



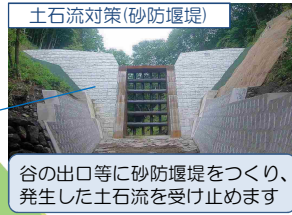
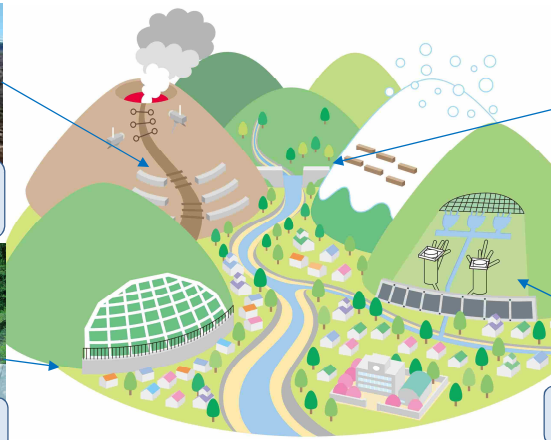
※ 用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。

施策3 防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

取組1 水害リスクを軽減させる防災インフラ整備

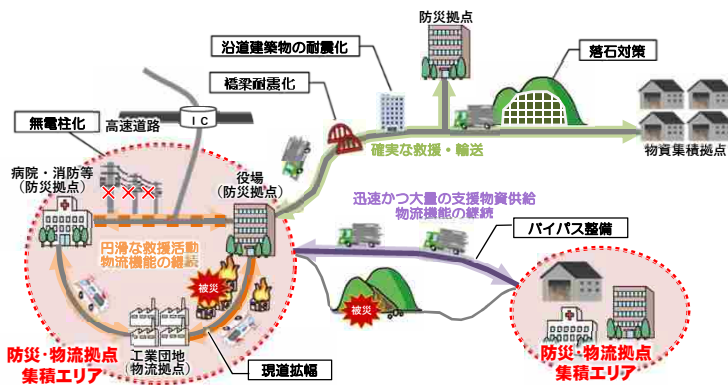


取組2 土砂災害リスクを軽減させる防災インフラ整備



取組3 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築

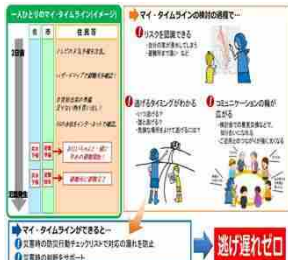
災害時に重要な役割を担う緊急輸送道路等々の強化（災害時の物流・人流機能の維持）



施策4 避難のサポート（中長期レジリエンス戦略）

取組1 水害による「逃げ遅れゼロ」に向けた避難行動の促進

マイ・タイムライン※の作成支援 広域避難計画の策定支援



取組2 土砂災害による「逃げ遅れゼロ」に向けた避難行動の促進

土砂災害警戒区域※等の見直し 老人ホームにおける図上避難訓練

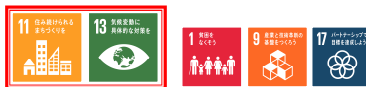


※用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。

政策 2

持続可能で効率的なメンテナンス

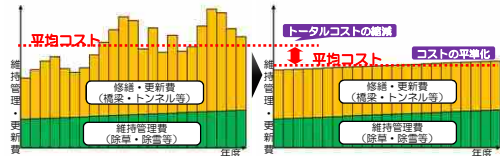
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



施策 1 予防保全に基づく長寿命化

取組 1 計画的な長寿命化の推進

長寿命化計画に基づく維持管理・更新費用のトータルコストの縮減と平準化



施策 2 効率的な維持管理

取組 1 行政が実施する維持管理



取組 2 地域住民主体の維持管理



取組 3 民間の力を活用した維持管理



政策 3

多様な移動手段の確保

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



施策 1 公共交通網の整備・維持

取組 1 地域的な暮らしの足の確保

新たな移動手段の確保（相乗りタクシー）



取組 2 基幹公共交通軸の確保・維持

バスロケーションシステム*の導入



取組 3 新技術を活用した効率的で持続可能な移動手段の確保

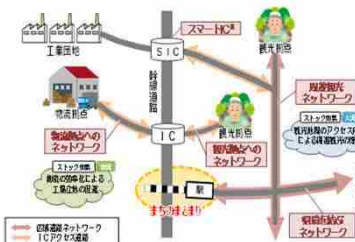
自動運転技術の開発・普及



施策 2 自動車交通網の整備

取組 1 物流の効率化と観光振興を支える道路ネットワークの構築

物流・人流ネットワークの構築（平時の物流・人流機能の向上）



取組 2 まちのまとまりをつなぐ道路整備

まちのまとまりをつなぐ道路



取組 3 生活を支える道路整備

交差点改良（右折レーン設置）



施策 3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備

取組 1 子どもたちが安心して通学できる環境の整備

通学路の歩道整備



取組 2 中高生が安心して通学できる環境の整備

自転車通行空間の整備



自転車ヘルメットの着用促進



取組 3 高齢者が安心して外出できる環境づくり

高齢者交通安全教育

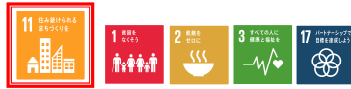


* 用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。

政策 4

住み続けられるまちづくり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



施策 1 適正な土地利用によるまちのまとまりの維持

取組 1 居住と都市機能集積の促進

立地適正化計画※による「都市機能誘導区域※・居住誘導区域※」の指定促進

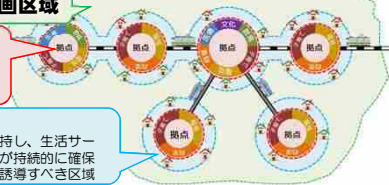
立地適正化計画区域＝都市計画区域

都市機能誘導区域

医療・福祉・商業など都市機能を誘導し集約することにより、各種サービスの効率的な提供を図る区域

居住誘導区域

一定の人口密度を維持し、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域

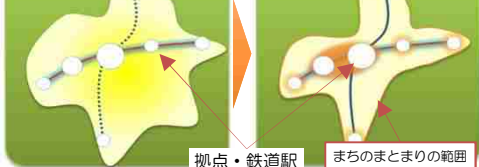


取組 2 公共交通を軸としたまちづくり

鉄道駅周辺や基幹バス路線沿線への立地誘導

拡散したまち

公共交通を軸としたまち



拠点・鉄道駅

まちのまとまりの範囲

施策 2 良好なまち並みと快適な住まいづくり

取組 1 地域の誇れる景観づくり

景観まちづくりへの支援



取組 2 安全で快適な居住環境づくり

土地区画整理



空き家対策（空き家の利活用）



政策 5

美しく良好な環境の保全

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



施策 1 豊かで美しい自然環境の保全・再生

取組 1 良好な河川環境の保全・形成

多自然川づくり※



取組 2 多様な生態系の保全・復元

地域住民と連携した自然再生の取組



施策 2 健全な水循環の維持・回復

取組 1 地域の特性を踏まえた污水处理人口普及率の向上

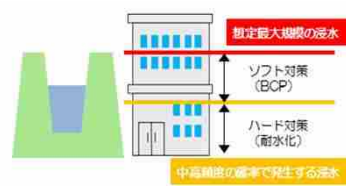
効率的・効果的な污水处理施設の整備



合併処理浄化槽への転換促進



下水道施設の耐水化



施策 3 地球温暖化対策の推進

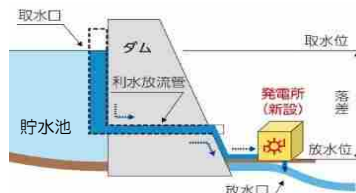
取組 1 スマートムーブ※の促進

モビリティ・マネジメント※の推進

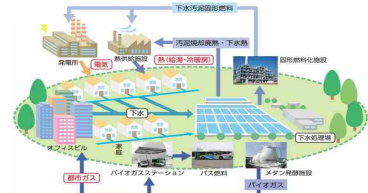


取組 2 再生可能エネルギー等の利活用の推進

ダムの利水放流を活用した小水力発電※



下水道が有する再生可能エネルギーの利活用



※用語の意味については、P144～P151の用語解説をご覧ください。

